別 記
様式第1号（第8条、第9条、第12条関係）

事業者行動（計画・変更計画・報告）書

年　月　日

（宛先）
滋賀県知事

提出者
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）
京都市左京区鹿ケ谷下宮ノ前町20番地

氏名（法人にあっては、名称および代表者の氏名）
宗教法人　神慈秀明会　代表役員　小山玉男
（代理人）　総務部長　岡田整治☒

滋賀県CO_2ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例
第25条第3項・~~第25条第4項~~
~~第27条第1項~~・~~第27条第2項において準用する同条例~~
~~第26条第1項~~
~~第27条第2項において準用する同条例第26条第1項~~

~~第25条第4項~~ の規定に基づき、事業者行動計画を 策定　~~（変更）~~
~~事業者行動報告書を作成~~ したので、提出します。

事業者の氏名（法人にあっては、名称および代表者の氏名）	宗教法人　神慈秀明会　代表役員　小山玉男
事業者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）	京都市左京区鹿ケ谷下宮ノ前町20番地

1　事業者の概要

事業所の名称	宗教法人　神慈秀明会					
事業所の所在地	滋賀県甲賀市信楽町田代353－1					
主たる事業	日本標準産業分類細分類番号	9	4	9	1	※ 産業分類・細分類名称を記載 その他の宗教の教会
事業の概要						
従業員の数	328　人	操業時間	8（9時から18時）　時間／日			
該当する事業者の要件	☑ 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500ｷﾛﾘｯﾄﾙ以上の事業所を県内に有する事業者					
	☐ 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	☐ 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	7　台	熱源設備	17　台	照明設備	台
	コンプレッサ	10　台	空気調和設備	157　台	その他	

2　計画期間（および報告対象年度）

計画期間	開始年度	H29　年度	報告対象年度	R4　年度
	終了年度	R5　年度		

3　計画の（内容・実施状況）

計画の（内容・実施状況）	別添のとおり

注　用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

標準様式第1号・標準様式第2号

（第1面）

1　CO_2ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

私たち（神慈秀明会）は、自然順応、自然尊重を理念とし理想社会実現に向けて地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つである事を認識し、全組織を挙げて環境負荷の低減に努力します。
また、私たち（神慈秀明会）は地域に根ざした環境保全活動を通じて地域の方々とのパートナーシップを育み、循環型社会の構築に寄与していきます。

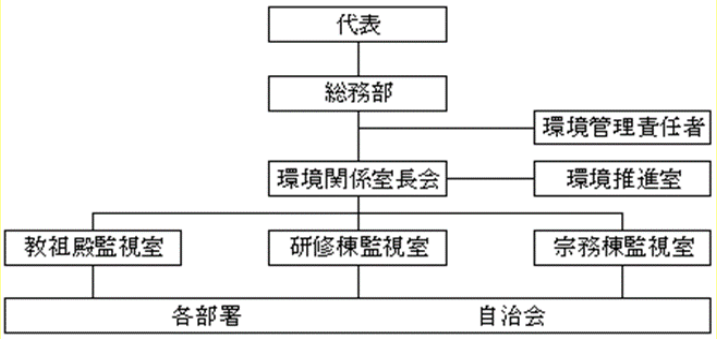
1. 事業活動を通じて、環境負荷を最小限にする仕事の仕組みを作り、環境の保全と汚染の予防に取り組みます。
（1）省エネルギー・省資源に取り組みます。
（2）廃棄物の削減と再資源化に取り組みます。
（3）グリーン購入を積極的に推進します。
（4）周辺の清掃等により美しい地域環境作りに貢献します。

2. 事業活動を通じた環境保全活動を定期的に見直し、継続的な改善に努めます。

2　取組の推進体制

○責任者　　環境管理責任者

○推進体制（組織図）



○従業員教育
4月：新職員研修（本部環境推進室主催）
内容：環境方針の徹底、目標の確認、年度計画の説明
5月～：実務研修会（年2回）
内容：実施項目の徹底、目標の確認、現状の報告、課題の検討
8月：一般環境研修（本部環境推進室主催）
内容；環境問題のビデオや映画の上映又は講演会の主催

3　これまでに取り組んできたCO_2ネットゼロ社会づくりに係る取組

設備導入対策　一部のエネルギーセンター未接続の建物を接続し、集中管理とし、エネルギーの効率化を図る
設備導入対策　一部の照明器具について、省エネ効果の高い照明設備に更新する
運用対策　毎日データ―を確認し、無駄を省く努力をするとともにトラブルやミスによる無駄な排出の早期発見に努める。

4　自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

（1）エネルギー起源CO_2排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	運用改善	エネルギーセンターへ一部の接続後の運用改善	平成29年度～令和5年度	実施中
2	設備導入	照明器具のLEDへの交換	平成29年度～令和5年度	290本蛍光灯からLEDに交換
3				
4				
5				

（2）エネルギー起源CO_2以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

（3）上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
各棟のエネルギー使用量を把握し、効率よく運用していくことにより全体のエネルギー消費量を抑えていく 平成29年度を基準年とし、令和5年度は5パーセント削減を目指す。	感染防止の為、換気量を増加させている事が、大きく影響しているが、エネルギーセンターができたことにより全体的な把握がしやすくなっている為、無駄は省かれていると思われる。 LED導入により、照明に関する電力量は減っている。

（4）温室効果ガス排出量等の実績

		計画開始年度前年度の実績	実績報告				
			(H30)年度	(R1)年度	(R2)年度	(R3)年度	(R4)年度
原油換算エネルギー使用量	kL	2,221	2110	2054	2150	2209	2,239
温室効果ガス総排出量	t-CO_2	4,843	4,524	3,599	3,779	4,027	3,657
エネルギー起源CO_2	t-CO_2	4,843	4524	3599	3779	4027	3,657
非エネルギー起源CO_2	t-CO_2	0	0	0	0	0	0
CH_4	t-CO_2						
N_2O	t-CO_2						
HFCs	t-CO_2						
PFCs	t-CO_2						
SF_6	t-CO_2						
NF_3	t-CO_2						
エネルギー等原単位の推移							

備考　「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

5　再生可能エネルギー等の利用に関する取組

（1）再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

（2）所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力･小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他（　　）	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

（3）再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度前年度の実績	実績報告				
			(H30)年度	(R1)年度	(R2)年度	(R3)年度	(R4)年度
再エネ電気設備での発電量	kWh	129	97.592	79.899	144	34.39	106
上記のうち自家消費量	kWh	129	97.592	79.899	144	34.39	106

6　事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減によりCO_2ネットゼロ社会づくりに貢献する取組

（1）取組の内容およびその実績

取組の内容等	取組の実施状況
○秀明自然農法を通じた低炭素社会づくりへの貢献 神慈秀明会では化学肥料や農薬を使わずに作物を育てる秀明自然農法の実施を、滋賀県をはじめとして全国の信者や一般の方々に推進しています。さらに、台湾、フィリピン、米国、ヨーロッパ、アフリカ各地で自然栽培を実施する生産者も増えており、地球環境の改善に貢献していきます。 圃場およびその周辺から得られた植物や作物残渣をそのまま圃場表面に被覆、あるいは、半熟堆肥や完熟堆肥にした後、土壌に施用することによって、土壌炭素の貯留量を増やしています。 製造過程で温室効果ガス排出をともなう化学肥料や農薬を一切使用しないことで低炭素社会づくりに貢献しま	実施中 **CO_2削減貢献量** 定量的な算出は難しいですが、トータルではCO_2削減に貢献しています。

（2）上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

目標および目標設定の考え方
世界中に無肥料、無農薬の環境にやさしい農業である秀明自然農法を広めることを目標としています。 これは、人間をはじめすべての生き物が住みやすい地球環境を維持していくために必要なことと考えます。

（3）上記の取組にかかる目標の進捗に対する自己評価およびCO_2削減貢献量の算出根拠

目標の進捗に対する自己評価
秀明自然農法を実施する農家（専業・兼業）が、日本国内で約1000人を超え、家庭菜園を実施している一般の人も面積も年々増えています。 海外でも多くの農家が秀明自然農法や環境にやさしい農業に取り組んでいます。 国内外で「作る人を増やす。食べる人を増やす。」という目標のもと、秀明自然農法の実施と消費を推進したことによって、環境によい農業が広がっています。
CO_2削減貢献量の算出根拠
化学肥料や農薬は製造過程で温室効果ガスを大量に排出しますが、秀明自然農法では化学肥料や農薬を一切使用しません。これらの取組みから、明らかにCO2削減に貢献しています。